

図書館だより

平成 27 年 10 月 15 日発行No.99

編集・発行

武蔵野市立図書館

TEL0422-51-5145(中央)

図書館ホームページで蔵書検索、貸出・予約状況確認、延長手続きができます！

URL <http://www.library.musashino.tokyo.jp/>

モバイル版 URL <http://www.library.musashino.tokyo.jp/m/>



本の中の武蔵野市 その5

1-No.71、2-No.75、3-No.89、
4-No.95 もあります。

武蔵野市を舞台にした本を紹介します。本を通してみると、いつもの見慣れた町が一層魅力的に見えるかもしれません。

()は所蔵館です。記載のないものは全館で所蔵しています。

『うつりゆく吉祥寺』 鈴木育男／著 ぶんしん出版

213.6／ス 09／ス(中央) M／B7-10(中央・吉祥寺)

昭和 40 年代を中心に行われた都市再開発により大きく変貌した吉祥寺。今、再び大きな変化のときを迎えた街の姿を、当時の写真とともに振り返る今昔写真集。

『武蔵野ものがたり』 三浦朱門／著 集英社 I／291.3／ミ(中央)

国木田独歩が『武蔵野』を書いてから 100 年余、武蔵野は変貌した。青春時代を中央線沿線で過ごした著者が、懐かしい友人たちの話に光を当て、移りゆく武蔵野に思いを馳せる。

『吉祥寺「ハモニカ横丁」物語』 井上健一郎／著 国書刊行会

672.1／イ M／V6-10(中央・吉祥寺)

街の暗がりの路地に小さな店がひしめく横丁。その多くは戦後のヤミ市にルーツがあった。吉祥寺のハモニカ横丁をはじめ、全国の横丁の歴史を巡り、魅力を明らかにする「横丁文化論」。

『吉祥寺バウスシアター映画から船出した映画館』 ラスト・バウス実行委員会／編 boid

711／キ(中央・プレイス) M／P0-10(中央) M／Y8-10(吉祥寺)

映画、演劇、音楽、落語…おもしろいことならなんでもやろう。無謀なコンセプトをもって吉祥寺に誕生した「バウスシアター」の 30 年の歩みを、劇場関係者たちの証言と貴重な資料でたどる。

『消えた少女 吉祥寺探偵物語』 五十嵐貴久／著 双葉社 B／913.6／イ

吉祥寺のコンビニでアルバイトをするおれ(バツイチ・息子あり)は、成り行きで、1年前に忽然と姿を消した少女を捜すことに。『最後の嘘』『六つの希望』『盗まれた視線』『いつかの少年』と続編あり。同著者の『土井徹先生の診療事件簿』(幻冬舎)は、南武蔵野署の副署長・令子、「動物と話せる」獣医・土井先生、おしゃまな先生の孫・桃子が動物にまつわるフシギな事件を解決！

『落穂拾ひ・聖アンデルセン』 小山清／著 新潮社 B／913.6／コ(中央)

明治の匂いの残る浅草に育ち、純粹無比の作品を遺して短い生涯を終えた作家・小山清の短編集。吉祥寺に住み、孤独な生活を送る「僕」の日々の思いを綴った「落穂拾い」などを収録。



『吉祥寺の百日恋』 坂本葵／著 新潮社 913.6／サ

吉祥寺の裕福な地主一族の元で飼われている、若きシャム猫・錫乃介はその美貌ゆえに放蕩の日々。義姉・永遠子にけしかけられ、侯爵家の令嬢・深雪を百日で籠絡できるかの賭けをする。手練手管で誘惑し、褒美を得るはずだったのだが…。現代猫版「危険な関係」。

『埋れた牙』 堂場瞬一／著 講談社 913.6／ド

地元である武蔵野中央署に移ったベテラン刑事の瀧は、女子大生失踪の話聞き、新人刑事の教育も兼ねて2人だけの捜査を開始するが、それは過去の未解決事件へと繋がっていき…。

『マザー』 平山瑞穂／著 小学館 913.6／ヒ

吉祥寺のストリートでおぼろげな記憶の中の「彼」を歌う夏実、大学で都市伝説を研究する雄輝。2人の前に、自分にとっての「理想の人物」を生み出せるという奇妙なソフトが現れる。

『のりたまと煙突』 星野博美／著 文藝春秋 914.6／ホ(中央・プレイス)

すべてを忘れて、私たちは幸せに近づいたのだろうか…。吉祥寺と戸越銀座。著者は様々な猫との出会いと別れを経験し、生と死、忘れえぬ過去の記憶へと思いを巡らせていく。

『火花』 又吉直樹／著 文藝春秋 913.6／マ

奇想の天才である一方で人間味溢れる神谷(吉祥寺在住?)、彼を師と慕う後輩徳永。芸人の2人が運命のように出会ってから劇は始まった。笑いとは何か、人間が生きるとは何なのか。



『昼田とハッコウ』 山崎ナオコーラ／著 講談社 913.6／ヤ

家業の「アロワナ書店」で名ばかりの店長となったハッコウ。ハッコウのいところで、六本木ヒルズのIT企業に勤める昼田。書店の危機に、2人はゆっくり立ち上がる。幸福寺って…! ?。

同著者の『ニキの屈辱』(河出書房新社)は、人気写真家ニキのアシスタントになった加賀美。傲慢な彼女に心ひかれた彼は、公私ともに振り回されて…。ニキと加賀美の住まいが吉祥寺。

『吉祥寺よろず怪事(あやごと)請負処』 結城光流／著 KADOKAWA 913.6／ユ



吉祥寺に棲む大学生・保の家は代々の庭師。なぜか「庭」や「樹」絡みの不思議な事件が次々舞いこんでくる。それを解決してくれるのは、住み込みの庭職人・啓介。クールな彼は、なんと現代に生きる陰陽師だった…。

『「人間失格」殺人事件』 吉村達也／著 実業之日本社 913.6／ヨ

太宰と同じ津軽出身の大学生・谷明人は、過激な環境テロ活動に走る。第一の犠牲者は、大企業を経営する彼の実父だった。さらに明人は首都圏テロを予告するが、その裏では、太宰ファンの少女が相次いで失踪しており…。「吉祥寺という場所に、いったいなにがあるというのか。」